

白秋童謡の散歩道を歩こう

散歩道には写真のタイトルが随所に埋め込まれています。



小田原駅西口と白秋童謡館を結ぶおよそ4kmにわたる散歩道です。季節ごとに移り変わる風景の中で、この地で生まれた童謡をたどりながら、白秋の世界を楽しんでください。

②伝肇寺(でんじょうじ)案内板
白秋は、大正7年10月から大正15年5月まで家族とともにここに住んでいました。大正8年5月、本堂の東側に建てた小さな家は、その姿から、「木克(みみづく)の家」と呼ばれていました。伝肇寺は、みみづく寺とも呼ばれています。

①白秋童謡の散歩道案内板
小田原駅西口交差点からスタートして、童謡詩の案内板をたどっていきます。

③お花畑案内板
白秋は、伝肇寺(でんじょうじ)に住む前、この地に住んでいました。日本初の童謡詩「りすりす小栗鼠(こりす)」は、ここに住んでいるとき、発表されたものです。

④小田原文学館・白秋童謡館案内板
白秋童謡館は、大正13年に田中光顕伯爵が建てた大正ロマン風の和風建築です。現在は、童謡関係の資料などが展示してあります。

